

# 2012年(平成24年)3月期 第2四半期決算説明会

---

2011年4月1日～2011年9月30日

**NJK** 株式会社 エヌジェーケー  
CORPORATION

2011.11.7

<b>当第2四半期の業績</b>	2
業績サマリー（連結）	3
営業利益の増減要因（連結）	4
会社別業績	5
セグメント別業績（連結）	6
各事業の概況	7

<b>通期(2011年度)の業績予想</b>	13
業績予想サマリー（連結）	14
営業利益の増減要因（連結）	15
会社別業績予想（連結）	16
セグメント別業績予想（連結）	17
各事業の見通し	18

<b>付属資料</b>	23
会社概要	24
貸借対照表（連結）	25
損益計算書（連結）	26
セグメント別受注実績（連結）	27

【業績予想等について】

本資料に記載されております計画、予測、戦略等の内、結果的事実でないものは、当社グループの業績に関する見通し及び目標であり、これらは現在入手可能な情報をもとに当社の経営陣が判断しているものであります。


したがって、これらの見通し及び目標に全面的に依拠することは控えて頂きますようお願い致します。事業業績は、経済情勢、顧客の属する業界での変化・変革（ただしこれらに限られない）など、事業を取り巻くさまざまな要因に影響され、これら見通し及び目標とは大きく異なる可能性があります。

【セグメント名称の略記について】

本資料においてセグメントの名称を一部、以下のとおり略記しております。

ソフトウェア開発事業	→	ソフト開発
ネットワーク機器・システム商品販売事業	→	機器販売
オリジナルパッケージ開発及び販売事業	→	パッケージ
ハードウェア組立事業	→	ハード組立

（本資料の数字は単位未満切り捨てで表示しています。）



---

# 当第2四半期の業績

---

## 業績サマリー(連結)

(単位:百万円)

	10年度/2Q	11年度/2Q	前年同期比		期初予想比	
	(2010.9期)	(2011.9期)	(増減)	(増減率)	(増減)	(増減率)
売上高	5,130	4,583	△546	△10.6%	△556	△10.8%
営業利益	△149	△143	+5	—	△183	—
経常利益	△189	△149	+40	—	△204	—
四半期純利益	△139	△147	△7	—	△217	—

### ■ 概況

東日本大震災の影響や国内景気の停滞に伴うユーザのIT投資の抑制が続き、ソフト開発では、開発案件の収束や開発規模の大幅な縮小が発生した。機器販売についても法人需要の伸び悩みなどにより、売上高が大きく減少した。

### ■ 前年同期比/期初予想比

前年同期比、期初予想比ともに売上高は5億円強の減少となったが、販管費を抑制したことなどにより利益はほぼ前年同期並みとなった。期初予想に対しては営業利益、経常利益、純利益いずれも2億円前後の減少となった。

### ■ 今後の見通しについて

下期についても厳しい事業環境が継続すると見込まれるため、10月14日に通期の業績予想の修正を公表した。

# 営業利益の増減要因（連結）

（単位：百万円）

10年度/2Q実績

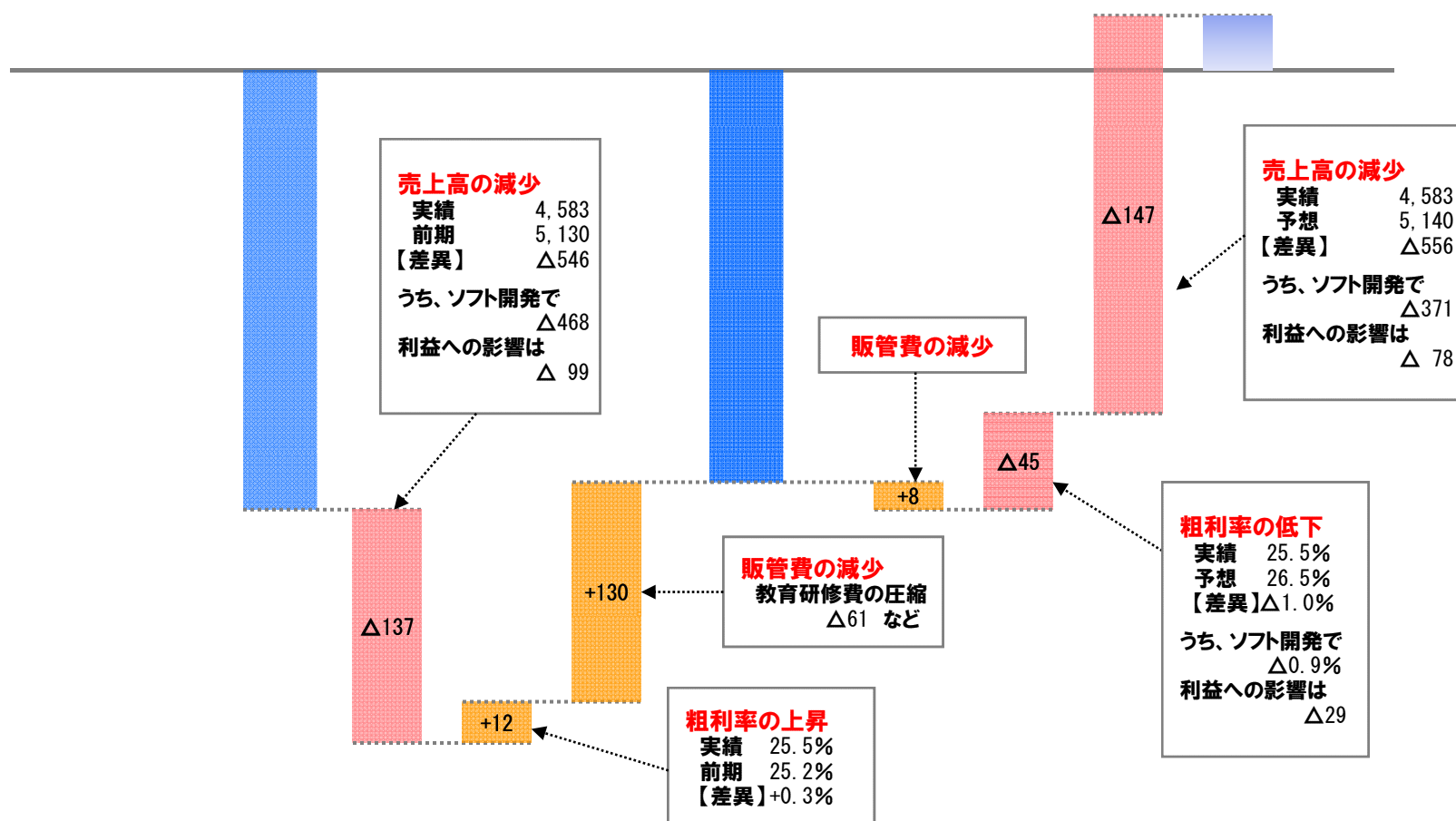
11年度2Q実績

11年度2Q期初予想

△149 前年同期比→  
(+5)

△143 ←期初予想比  
(△183)

40



## 会社別業績

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	純利益
NJK(個別)	2009.9期	3,862	△404	△307	△165
	2010.9期	4,416	△226	△242	△158
	2011.9期	3,891	△219	△187	△156
メディア ドライブ	2009.9期	425	75	77	45
	2010.9期	444	80	81	48
	2011.9期	454	67	69	41
NJKテクノ・ システム	2009.9期	350	△7	△5	△16
	2010.9期	307	△5	△2	△3
	2011.9期	282	5	8	8

※メディアドライブの主な事業は、OCRソリューションなどのパッケージであります。  
NJKテクノ・システムの主な事業は、ハード組立であります。  
各社の概要については、付属資料をご参照ください。

## セグメント別 業績(連結)

### 【売上高】

(単位:百万円)

	10年度/2Q	11年度/2Q	前年同期比		期初予想比	
	(2010.9期)	(2011.9期)	(増減)	(増減率)	(増減)	(増減率)
ソフト開発	3,567	3,098	△468	△13.1%	△371	△10.7%
機器販売	685	598	△87	△12.7%	△86	△12.6%
パッケージ	608	616	+7	1.2%	△93	△13.2%
ハード組立	255	260	+4	1.9%	△4	△1.6%
不動産賃貸	12	9	△2	△20.6%	△0	△2.4%
合計	5,130	4,583	△546	△10.6%	△556	△10.8%

### 【営業利益】

ソフト開発	△87	△128	△41	—	△148	—
機器販売	7	△4	△12	—	△9	—
パッケージ	△71	△22	+48	—	△42	—
ハード組立	△5	5	+10	—	+2	71.8%
不動産賃貸	7	6	△0	△5.9%	+14	—
合計	△149	△143	+5	—	△183	—

## ソフトウェア開発事業の概況

### 【分野別売上高】

(単位:百万円)

	10年度/2Q	11年度/2Q	前年同期比		期初予想比	
	(2010.9期)	(2011.9期)	(増減)	(増減率)	(増減)	(増減率)
業務ソフト	2,299	1,785	△513	△22.3%	△589	△24.8%
組込ソフト	1,268	1,313	+45	3.6%	+217	19.9%
合計	3,567	3,098	△468	△13.1%	△371	△10.7%

※「組込ソフト」は組込ソフトに関する試験案件なども含めております。また、集計の都合上「組込ソフト」以外のソフト開発は「業務ソフト」に含めております。

#### ■ 業務ソフトウェア分野

生損保や証券向けの案件が収束したことに加えて、当第2Qに売り上げを予定していた大型案件の開発規模が縮小した。

#### ■ 組込ソフトウェア分野

スマートフォン関連を中心に順調に推移した。

#### ■ 不採算案件の発生

両分野ともに不採算案件が発生し利益を減少させた。

## ソフトウェア開発事業の概況

### 【顧客グループ別売上高】

(単位:百万円)

	10年度/2Q (2010.9期)		11年度/2Q (2011.9期)		前年同期比 増減		期初予想比 増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	(増減率)	売上高	(増減率)
NTTデータグループ°	1,068	30.0%	814 ↓	26.3%	△254	△23.8%	△368	△31.2%
富士通/東芝グループ°	544	15.3%	599 ↑	19.3%	+54	+10.0%	+196	+48.8%
NTTグループ°	537	15.1%	529 →	17.1%	△8	△1.6%	△64	△10.8%
ソニーグループ°	374	10.5%	286 ↓	9.3%	△87	△23.4%	△1	△0.7%
銀行・証券・保険	314	8.8%	242 ↓	7.8%	△71	△22.7%	△130	△35.0%
パナソニックグループ°	242	6.8%	178 ↓	5.8%	△64	△26.7%	△31	△15.2%
NECグループ°	96	2.7%	55 ↓	1.8%	△41	△42.7%	△18	△24.6%
JR東日本グループ°	33	0.9%	72 ↑	2.3%	+38	+116.3%	+27	+9.5%
その他	359	9.9%	320 ↓	10.3%	△39	△10.9%	+16	+9.5%
合計	3,567	100.0%	3,098	100.0%	△468	△13.1%	△371	△10.7%

※上記のうち、富士通/東芝グループ、ソニーグループ、パナソニックグループは組込ソフトウェア分野が中心です。

## ネットワーク機器・ システム商品販売事業の概況

### 【売上高】

(単位:百万円)

	10年度/2Q	11年度/2Q	前年同期比		期初予想比	
	(2010.9期)	(2011.9期)	(増減)	(増減率)	(増減)	(増減率)
売上高	685	598	△87	△12.7%	△86	△12.6%

- 法人向け  
震災の影響などにより法人向けの受注が全般的に伸び悩んだ。
- 文教向け  
当2Qに売り上げを予定していた一部の文教向け案件が下期にずれ込んだ。

# オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況

## 【カテゴリー別売上高】

(単位:百万円)

	10年度/2Q (2010.9期)	11年度/2Q (2011.9期)	前年同期比 (増減) (増減率)		期初予想比 (増減) (増減率)	
OCRソリューション	436	444	+7	1.8%	+6	1.5%
BIソリューション	104	87	△16	△15.8%	△18	△17.3%
マンション管理ソリューション	49	77	+27	54.6%	△66	△46.4%
その他	16	9	△7	△44.1%	△12	△57.3%
(セグメント振替・内部取引)	1	2				
合計	608	616	+7	1.2%	△93	△13.2%

- OCRソリューション** 売上高444百万円 (前年同期比+7百万円、期初予想比+6百万円)
  - ・バンドル・ライブラリ (活字文書OCR) は伸び悩んだ。
  - ・帳票OCRソリューションは、「FormOCR」などの主力製品が医療向け、文教向けなどに順調に推移した。
  - ・コンシューマ向けパッケージでは、店頭市場が縮小しているなかで、新たにスマートフォン連携製品も加えて堅調に推移した。

# オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況

---

## ■ BIソリューション 売上高87百万円（前年同期比△16百万円、期初予想比△18百万円）

- ・ 他社製品との連携やホームページによる告知活動の強化に取り組んだ。
  - \*フーズレック様の「食品物流トレーサビリティ・サービス」（SaaS提供）
  - \*ミロク情報サービス様のERPシステム「MJSLINK II」
  - \*日経コンピュータ第16回顧客満足度調査「情報分析・意思決定支援ソフト分野」  
総合満足度64.4（参考値）（第1位は64.9、第2位は63.4）
- ・ 震災の影響などにより引き合い案件の進捗が停滞した。

## ■ マンション管理ソリューション

売上高77百万円（前年同期比+27百万円、期初予想比△66百万円）

- ・ 受注済みの大口案件の導入作業を確実に進めた。
- ・ 主力製品「FMS」についてWindows7対応版の移行に注力した。
- ・ 当2Qに売り上げを見込んでいた大口案件の納入時期が下期にずれた。

## ■ このほか不採算部門（セマンティック・ソリューション）の事業規模を縮小した。

## ハードウェア組立事業の概況 (NJKテクノ・システム)

### 【売上高】

(単位:百万円)

	10年度/2Q (2010.9期)	11年度/2Q (2011.9期)	前年同期比 (増減) (増減率)		期初予想比 (増減) (増減率)	
売上高	255	260	+4	1.9%	△4	△1.6%

- 期初に低迷していた主要顧客からの受注が、ハードウェアディスクの検査業務などを中心に当2Qに入り増加した。

# ■ 通期(2011年度)の業績予想

## 業績予想サマリー(連結)

(単位:百万円)

	09年度 (2010.3期)	10年度 (2011.3期)	11年度予 (2012.3期)	前期比 (増減)(増減率)		期初予想比 (増減)(増減率)	
売上高	10,360	10,523	10,000	△523	△5.0%	△850	△7.8%
営業利益	21	150	200	+49	32.7%	△170	△45.9%
経常利益	189	166	220	+53	32.3%	△180	△45.0%
当期純利益	43	△444	165	+609	—	△205	△55.4

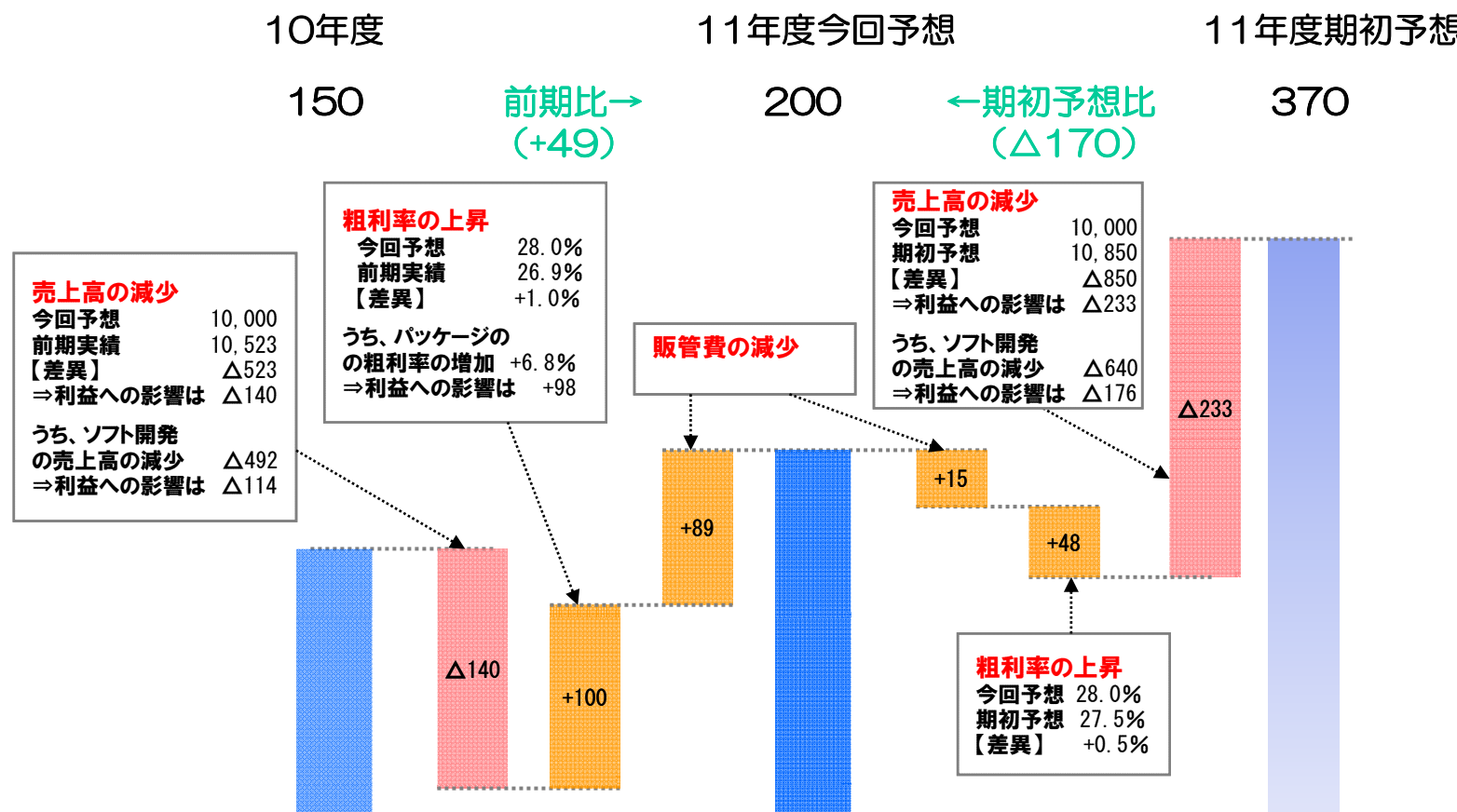
※10年度(2011.3期)の当期純利益(△444百万円)は、同年度に繰延税金資産の一部を取崩したことなどによるものです。

### ■ 概況

ユーザのIT投資の抑制傾向は継続しており、下期についても引き続き厳しい事業環境が継続すると見込まれる。

# 営業利益の増減要因(連結)

(単位：百万円)



# 会社別業績予想

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	純利益
NJK(個別)	2010.3期	8,941	△149	24	△23
	2011.3期	8,957	△62	△24	△549
	2012.3期予	8,523	14	68	86
メディア ドライブ	2010.3期	922	180	183	103
	2011.3期	1,005	202	205	121
	2012.3期予	990	166	170	100
NJKテクノ・ システム	2010.3期	657	△12	△6	△23
	2011.3期	647	6	11	10
	2012.3期予	570	20	19	18

## セグメント別 業績予想(連結)

### 【売上高】

(単位:百万円)

	10年度	11年度予	前期比		期初予想比	
	(2011.3期)	(2012.3期)	(増減)	(増減率)	(増減)	(増減率)
ソフト開発	7,262	6,770	△492	△6.8%	△640	△8.6%
機器販売	1,226	1,200	△26	△2.2%	△175	△12.7%
パッケージ	1,458	1,485	+26	1.8%	△15	△1.0%
ハード組立	553	525	△28	△5.1%	△20	△3.7%
不動産賃貸	22	20	△2	△10.0%	+0	0.0%
合計	10,523	10,000	△523	△5.0%	△850	△7.8%

### 【営業利益】

ソフト開発	167	80	△87	△52.3%	△165	△67.3%
機器販売	△35	△5	+30	—	△10	—
パッケージ	△4	129	+133	—	△1	△0.8%
ハード組立	9	20	+10	111.9%	+5	33.3%
不動産賃貸	13	△24	△37	—	+1	—
合計	150	200	+49	32.7%	△170	△45.9%

## ソフトウェア開発事業の見通し

### 【分野別売上高】

(単位:百万円)

	10年度 (2011.3期)	11年度予 (2012.3期)	前期比 (増減) (増減率)		期初予想比 (増減) (増減率)		※期初予想比/下期 (増減) (増減率)	
業務ソフト	4,566	4,307	△258	△5.7%	△857	△16.6%	△268	△9.6%
組込ソフト	2,695	2,462	△233	△8.7%	+217	9.7%	0	0.0%
合計	7,262	6,770	△492	△6.8%	△640	△8.6%	△268	△6.8%

#### ■ 業務ソフトウェア分野

- ・営業体制を一部見直してNTTデータグループなどの大口取引先向けの開発案件の獲得に注力する。

#### ■ 組込ソフトウェア分野

- ・スマートフォン関連は、メーカーの生産計画に応じて弾力的に対応していく。また、今後の展開に向けて、次期Android対応などの情報収集を継続する。
- ・車載ネットワークなどのカーエレクトロニクス関連や当社の「KURAGE」（自動評価ロボット）を活用した第三者検証サービスなどにも注力する。

#### ■ 各分野ともに稼働管理、品質管理を強化して、不採算案件の抑制に努める。

# ネットワーク機器・ システム商品販売事業の見通し

## 【売上高】

(単位:百万円)

	10年度 (2011.3期)	11年度予 (2012.3期)	前期比 (増減) (増減率)		期初予想比 (増減) (増減率)	
売上高	1,226	1,200	△26	△2.2%	△175	△12.7%

### ■ 法人向け

- ・ソリューション営業により案件の掘り起こしに注力する。
- ・「Lindacloud」(NTTデータ社製の垂直統合型サーバ製品)によるソリューション提案も展開する。

### ■ 文教向け

- ・見込み案件の確実な受注に努める。
- ・「FairCast」(NTTデータ社製の子供安全連絡網)などを切り口とした提案営業を進める。

# オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の見通し

## 【カテゴリー別売上高】

(単位:百万円)

	10年度 (2011.3期)	11年度予 (2012.3期)	前期比 (増減) (増減率)		期初予想比 (増減) (増減率)	
OCRソリューション	980	970	△10	△1.1%	+63	6.9%
BIソリューション	215	220	+4	1.9%	△34	△13.4%
マンション管理ソリューション	229	272	+42	18.7%	△25	△8.4%
モバイルソリューション	24	30	+5	23.7%	△5	△14.3%
その他	14	5	△9	△64.9%	△2	△28.6%
(セグメント振替・内部取引)	-5	-12				
合計	1,458	1,485	+26	1.8%	△15	△1.0%

- **OCRソリューション** 売上高970百万円 (前期比△10百万円、期初予想比+63百万円)
  - ・バンドル・ライブラリ (活字文書OCR) は複合機向け以外にも、システム案件への連携など販売の幅を広げる。
  - ・帳票OCRソリューションは引き続き医療向け、文教向けの案件獲得に注力する。
  - ・コンシューマ向けパッケージは、既存製品のバージョンアップを進めるとともに、クラウドOCRサービスなどの製品化も推進する。



# ハードウェア組立事業の見通し (NJKテクノ・システム)

## 【売上高】

(単位:百万円)

	10年度 (2011.3期)	11年度予 (2012.3期)	前期比 (増減) (増減率)		期初予想比 (増減) (増減率)	
売上高	553	525	△28	△5.1%	△20	△3.7%

- 引き続き既存の大口のお客様からの受注に努める。
- NTTデータグループのハード組立案件も取り扱っていく。



# 付属資料

# 会社概要

## 経営の基本方針

「健全なコンピュータ・ネットワーク社会の実現に向けて、常に最適なソリューションを提供し続ける」

## 株式会社 エヌジェーケー

本社 : 東京都目黒区  
 設立 : 昭和48年11月  
 上場日 : 平成13年11月6日  
 市場 : 東京証券取引所市場第2部  
 資本金 : 42億2242万5000円  
 従業員数 : 709人(平成23年9月末日)  
 事業内容 : ソフトウェア開発  
 ネットワーク機器・システム商品販売  
 オリジナルパッケージ開発及び販売

## 連結子会社

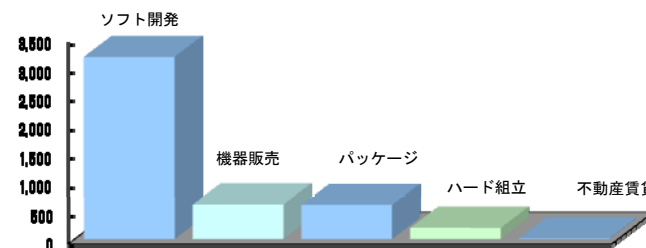
### メディアドライブ(株)

設立 : 平成3年11月  
 資本金 : 4億円  
 事業内容 :  
 オリジナルパッケージ開発及び販売  
 ネットワーク機器・システム商品販売  
 ソフトウェア開発

### エヌジェーケーテクノ・システム(株)

設立 : 昭和44年6月  
 資本金 : 7,978万円  
 事業内容 : ハードウェア組立  
 ソフトウェア開発

当第2四半期(累計)の売上高(百万円)と従業員数(人)



	ソフト開発	機器販売	パッケージ	ハード組立	不動産賃貸	共通	計
売上高	3,098	598	616	260	9	50	4,583
従業員数	615	26	86	15	1	50	793
執行会社	NJK						
	メディアドライブ						
	NJKテクノ・システム						

- ・ソフトウェア開発事業 : 基幹系システム関連、セキュリティ関連、Web関連、モバイル関連、データベース関連、ネットワーク関連などのシステムの開発やテクニカル支援サービス
- ・ネットワーク機器・システム商品販売 : 情報関連機器の販売及びネットワークシステムコンサルティング・設計・導入設置・保守・運用支援・その他サービス、TV会議システムなどの各種システム商品の販売
- ・オリジナルパッケージ開発及び販売 : 文字画像認識ソフト、音声認識合成ソフト、ファイリングソフトなどのOCRソリューション、NatureシリーズなどのBIソリューション、モバイルソリューション、マンション管理ソリューションなどのオリジナルパッケージソフトの開発・販売
- ・ハードウェア組立 : 各種電子基板及びコンピュータ関連機器の組立ならびに検査
- ・不動産賃貸 : (不動産賃貸)

## 貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

	10年度 (2011.3期)	11年度/2Q (2011.9期)	増減 (前期末比)
流動資産	9,223	8,859	△363
固定資産	3,706	2,920	△785
<b>資産合計</b>	<b>12,929</b>	<b>11,780</b>	<b>△1,149</b>
流動負債	2,047	1,229	△818
固定負債	1,214	1,216	+1
<b>負債合計</b>	<b>3,261</b>	<b>2,445</b>	<b>△816</b>
株主資本	9,920	9,605	△315
評価・換算差額等	△252	△270	△17
<b>純資産合計</b>	<b>9,667</b>	<b>9,335</b>	<b>△332</b>
<b>負債、純資産合計</b>	<b>12,929</b>	<b>11,780</b>	<b>△1,149</b>

### 資産の減少

流動資産の減少は、「売掛金」の減少などによるものです。  
固定資産の減少は、「長期預金」や「投資有価証券」の減少などによるものです。

### 負債の減少

流動負債の減少は、「短期借入金」の減少などによるものです。

### 純資産の減少

配当金の支払いや四半期純損失の計上に伴う「利益剰余金」の減少のほか、自己株式を取得したことなどによるものです。

自己資本比率

10年度末  
11年度/中

74.8%  
79.2%

## 損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	10年度/2Q (2010.9期)	11年度/2Q (2011.9期)	増減 (前期比)	
売上高	5,130	4,583	△546	△10.6%
売上原価	3,837	3,416	△421	△11.0%
売上総利益	1,292	1,167	△124	△9.7%
販売費及び一般管理費	1,441	1,311	△130	△9.1%
営業利益	△149	△143	+5	—
営業外損益	△40	△5	+34	—
経常利益	△189	△149	+40	—
特別損益	△52	△0	+52	—
税金等調整前当期純利益	△242	△149	+92	—
法人税等	△102	△2	+100	—
四半期純利益	△139	△147	△7	—

### 売上原価の減少

売上原価の減少の主なものは、売上高の減少に伴うソフトウェア開発事業の外注加工費、ネットワーク機器・システム商品販売事業の商品仕入高の減少などです。

### 販管費の減少

販管費の減少の主なものは、教育研修費の圧縮などによるものです。

### 営業外損益の主な内訳

主な営業外損益は次のとおりです。

10年度/中	
助成金収入	+39百万円
投資有価証券評価損	△103百万円
11年度/中	
助成金収入	+21百万円
投資有価証券評価損	△48百万円

### 特別損益の主な内訳

主な特別損益は次のとおりです。

10年度/中	
貸倒引当金戻入額	+12百万円
投資有価証券評価損	△57百万円
11年度/中	
(特記すべきものはありません)	

## セグメント別 受注実績（連結）

（単位：百万円）

		09年度/2Q	10年度/2Q	11年度/2Q	増減	
		(2009.9期)	(2010.9期)	(2011.9期)	(前期比)	
ソフトウェア開発	受注高	2,800	3,018	3,046	+27	0.9%
	受注残高	2,320	2,145	1,936	△209	△9.8%
ネットワーク機器・ システム商品販売	受注高	520	620	569	△51	△8.3%
	受注残高	32	95	91	△4	△4.8%
オリジナルパッケージ 開発及び販売	受注高	556	614	595	△19	△3.1%
	受注残高	88	97	143	+46	47.7%
ハードウェア組立	受注高	204	246	282	+36	14.8%
	受注残高	53	59	55	△4	△6.9%
合 計	受注高	4,081	4,500	4,493	△6	△0.1%
	受注残高	2,494	2,398	2,226	△171	△7.2%

※上記の表は、不動産賃貸事業を除いております。